

大豆だより

JA能美

第 1 号

令和元年 5月 日

排水対策の徹底と適期に播種を！！

耕起から播種までの一連の作業は、土壌が乾いた状態で1日で仕上げましょう。

排水対策

- (1)水田周囲及び圃場内(5~10m毎)に排水溝を掘る。(麦跡の場合は、麦用溝を利用する)
【溝切りの方法については裏面参照】
- (2)弾丸暗渠の併用で効果が高くなる。

酸度矯正 基肥施用

施肥時期	肥料名	10a当たり施用量	
		普通圃場	麦跡圃場
土づくり (酸度矯正)	カキ鉄エース	100kg	
基 肥	BB大豆一発	30~40kg	40~50kg
	BB高度056号	20kg	30kg

(1)酸度矯正は、播種の7~10日前までに行う。pH6.5~7.0を目標とする。

種子消毒

紫斑病・茎疫病・フタスジヒメハムシ・ネキリムシ類・アブラムシ類・タネバエ

薬剤名	対象病害虫	使用方法
クルーザー MAXX	紫斑病、茎疫病、フタスジヒメハムシ、ネキリムシ類、アブラムシ類、タネバエ	種子1kgに対し、薬剤8ml塗布処理する。キヒゲンの粉衣処理が省けます。

※播種の2日前~前日に処理する。

耕起・碎土

直径2cm以下の土塊が60%以上になるよう細かくする。

播 種

品種：里のほほえみ (収穫時期：10月中~下旬)

条 件	播種時期	播種量 /10a	播種深度	条 間	株間	苗立数 /10a	苗立数/m
普通	6/5~6/20	7~8 kg	3cm	75~80 cm	13cm	15,000~18,000本	12~14本
狭畦	6/15~6/25	11~12 kg	3~5cm	40cm	10cm	25,000本	10本

※播種速度を上げすぎない。(播種量・深度の作業精度を上げる。)

除草剤散布

播種後発芽前(雑草発生前)

散布時期	薬剤名	10a当たり使用量	備 考
播種直後(雑草発生前)	クリアターン細粒剤F	5 kg	畑地1年生雑草
播種後発芽前	トレファノサイド乳剤	薬量250ml/水 100ℓ	畑地1年生雑草
	ラクサー粒剤	4~6 kg	

※粒剤を使用する場合は、土壌に湿り気がある状態で散布する。

※散布後に大雨が予想される場合は、散布を控える。

詳しいことは営農指導員にお尋ね下さい

生産履歴とGAPは的確に記帳しましょう！

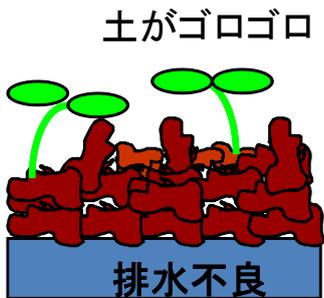
農薬はラベルを確認して散布しましょう！

排水対策は大豆づくりのかなめ！！

排水不良の圃場では……

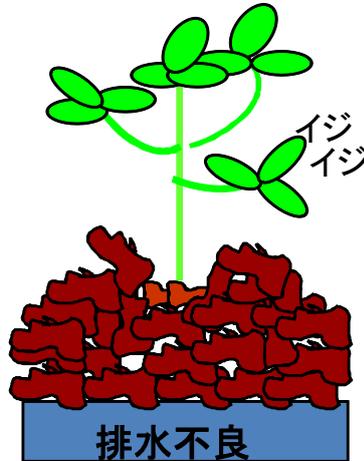
苗立不良

発芽期



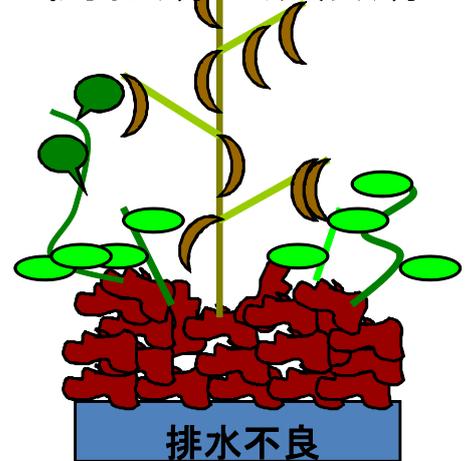
生育不良

培土期(2~6葉期)



収量・品質低下

開花期~成熟期



〔砕土率が悪くなる〕

- ・出芽率の低下
→ 苗立不良

表 土壤水分と出芽率

土壤水分 (%)	出芽率 (%)
51	95
70	85
84	45
100	10

(農林総合研究センター)

〔しっかり土寄せができない〕

- ・根が伸びない
→ 干ばつに弱い
- ・根粒菌の着生不良
→ 窒素固定の低下
- ・雑草の多発

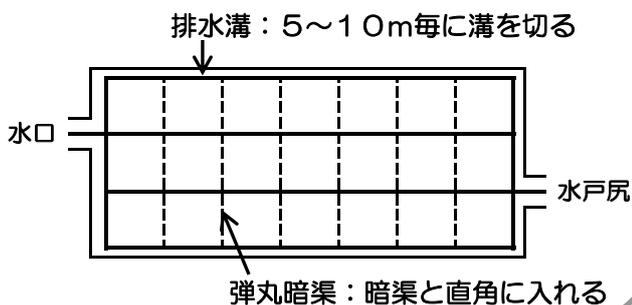
〔湿害を受けやすい〕

- ・1株の莢数が減少
→ 収量低下
- ・雑草発生
→ 汚損粒の発生
- ・主茎が短い
→ 収穫ロスが高い

- ・茎疫病の発生助長

土壤水分は出芽の安定だけでなく、大豆の生育に大きく影響します。排水対策の徹底が不可欠です。

溝切りの方法



排水溝の断面図

